



連理の木の下の保育園

# れんりの子通信

CHILD OF LENRI

園だよりNo.10

令和6年12月27日発行

寒い冬がやって来て、クリスマスが終わり、お餅つき、大掃除が終わるとお正月。子ども達は、この季節の流れをまだまだ数えるくらいしか経験していませんが、きっと年々、年末年始が楽しみになってくるのではないのでしょうか。「♪も〜いくつ寝るとお正月〜♪」お正月を楽しみにするのは昔も今も変わらないのでしょうか。

## 1月の予定

1~3日 休園

7日(火) お正月のお料理(給食)  
七草粥(おやつ)

10日(金) 鏡開き(おやつ)

15日(水) 避難訓練・消火訓練

20・21日(月・火) 身体測定

29日(水) 肉の日(かぜのこ・もりのこ)

20~28日 進級用品・教材注文期間

30日(木) 噛む力測定(かぜのこ・もりのこ)



## 1月以降の主な予定

1月中旬 来年度の用品注文

2月25~28日 こども美術館

3月10日(月) すくすくひろば

3月21日(金) 卒園式

4月 1日(火) はじめの一日の日(進級式・入園式)

\*3月10日(全園児)・21日(卒園児)・4月1日(全園児)

は保護者の方にも参加していただく行事となります。

午前中を予定しておりますので、あらかじめお仕事の調節

をお願いします。詳細については後日、お知らせいたします。



## おしらせ・おねがい

\*24日のクリスマスパーティーで子ども達に渡したプレゼントは、春から販売していた『こどものうえん』で収穫した野菜の売上金で用意させていただきました。野菜を購入してくださった保護者の方や愛管の社員の皆さんに感謝いたします。プレゼントは、0歳児：くねくねイモムシ、1歳児：木製パズル水族館、2歳児：木製パズルはらぺこあおむし、3歳児：食育かるた、4歳児：ばばあちゃんの冒険すごろく、5歳児：いろはカルタです。年末年始にご家族で遊んでいただける年齢に合ったものを選びました。園でも遊べるように3,4,5歳児クラスには同じ物を用意してあります。園でも新年にみんなで遊びますので、ご家庭でも親しんでおいてください。

\*進級にあたり用品と教材の注文をとります。ご注文期間は1月20~28日となります。メールでもお知らせいたしますが、期間中にアプリを開いていただき忘れずに、ご注文ください。注文期間に園ズボン等の見本も用意しますので、にじのこさんはサイズの確認をしてください。

新学期用品については、集金：2月20日、品物引き渡し：3月下旬を予定しております。

\*年末年始の過ごし方については『食農だより』『ほうけん』でもお知らせしていますが、年明けから園生活にスムーズに入れるよう、なるべく生活のリズムを崩さずお過ごしください。年末年始の緊急連絡については『れんり通信12月号』をご参照ください。

## 園長だより

早いもので開園して4回目の冬を迎えています。毎年のことながら都田は遠州のからっ風を強く受け、寒さが凍みますが子ども達はそれぞれに工夫して過ごしています。ドッチボール、縄跳び、鬼ごっこなどで元気よく身体を動かして遊ぶと身体が温まることを知っています。お日様が当たって風をよけられる場所が温かい場所だということも分かっていて、石に草を擦り付けて緑の石にする遊びにハマっている子達は重い石をズリズリと日なたに運んで遊んでいます。先日は外に出しておいた段ボールの中が温かいことに気づき、家や風呂に見立て「おうちのなかは、あたたかいね」や「いいゆだな」なんて声が聞こえていました。

また、寒くなると環境の変化にも気づきます。夏に青々と茂っていた連理の木の葉っぱが落ちてなくなること、セミやトンボがいなくなること、野菜を煮ている鍋の蓋を開けると湯気が天井まで上がること、友達とくっくと温かいこと…この他にも言葉には表現できていないけれど、子ども達の気づきはたくさんあると思います。

11月末に焼き芋をやりました。今年はなかなか寒くならず、落ち葉が集まらなかったのが例年より少し遅くなりました。これもまた自然ですね。焚火を始めると自然と子ども達が集まってきました。「あたたかいね」「てがあたたかい」「かおがあつくなってきた」と可愛い手を焚火にかざします。「♪かきねのかきねのまがりかど…♪」誰かが歌い出し、そのうちそこに集まって来た子ども達の大合唱が始まりました。すると今度は「けむりがこっちにきた!」「こんどは、そっち!」と風向きによって移動する煙から逃げる子ども達の大移動も始まり、移動の度に「ゲラゲラ」と笑い声が響いていました。みんなとっても楽しそう、これが(自然と遊んでることだなあ)と子どもの様子を見ながら焼き芋が焼けるのを待ついい時間を過ごしました。焚火をすることで、火が熱いことも自然と学び、火とのちょうどいい距離を自分で見つけていました。

寒いのは辛いと感じることもあるけれど、おもしろい自然現象や寒い時だからこそできること、感じられることもあり、どうせ、冬を過ごすなら、思いっきり楽しもう!と思うようになったれんりの子で過ごす4回目の冬です。

さあ、この冬、何をしようかな?